

中1英語「“伝わらない”から“伝えたい”へ ～AIとミライシードで変わった英語の授業～」

ミライシード
AWARD
2025

Benesse
主催 ベネッセコーポレーション



オクリンク
プラス

- ・AIとミライシードを活用した、個別最適な学びと協働的な学びの実現
- ・校務負荷軽減による、支援が必要な生徒の伴走と学びの接続
- ・英会話から英作文まで、様々な場面で生徒が自走する英語の授業

活用背景・ねらい

中学校でのICT端末の活用が低く、特に「考えをまとめて表現」「やりとり」の場面が不足していた。小学校で身に付いたICTスキルが中学入学で断絶しやすい点も課題である。特に英語科における圧倒的な発話量・アウトプット不足や、探究学習における資料整理、構成段階での思考支援の欠如は、生徒の資質・能力を伸ばす上での大きな足かせとなっている。それらを打破し、**個別最適な学びと協働的な学びのベストミックス**を実現することをねらう。

成果・効果

テストパーク（カスタム作成機能）により**英単語テストの平均点が上昇**。即時フィードバック→当日中の振り返りが語彙定着に寄与した。英語AIプラットフォーム「WorldClassroom」活用により**英会話の心理的障壁が下がり、語彙力・発話量ともに大幅な向上**が見られた。外部コンテストで**全国第4位・複数名の個人入賞**も果たした。生成AI「スタディポケット」の活用により、生徒は「検索」から「対話」へと学びをアップデートさせ、資料整理やレポート構成の推敲、複数視点からの比較検討を主体的に行うようになった。また、テストパークや生成AIを活用することにより、**校務の大幅な効率化**を達成した。

授業・取り組みの流れ

① AIとの対話によるアウトプットの日常化

授業冒頭にWorldClassroomの生成AIキャラクターと英会話をを行い、その後ペアで短いやりとりをする。AIの即時フィードバックにより、生徒は失敗を恐れず**個別最適なトレーニング**を積むことができる。クラス全体の**語彙力・発話量の底上げ**につながった。

② 基礎学習を個別最適化する

教科書内容確認後、新出語はドリルパークで反復する。課題は単元ごとに配信し、生徒は**自分の理解度に合わせて回数・ペースを調整**する。教師は学習ログを見て、つまずきが大きい生徒に短く介入する。

③ 表現をAIで磨き、作品にする

オクリンクプラスで「**手順付きロードマップ**」「**お手本**」「**提出用**」カードを配付し、**迷子を防ぐ**。生徒は友達紹介の英作文を作り、**生成AIスタディポケットの「授業目的に沿うモード」**を対話型コーチとして添削・言い換え・語数調整を行う。さらに**Canva AIで作文内容を視覚化した画像を生成し、伝える表現へ整える**。教師は“答えをもらう”使い方がならないよう、質問の仕方と根拠の残し方を指導する。

④ 相互参照で協働的な学びを加速する

完成カードはオクリンクプラスの「**みんなのボード**」に実名で提出し、**相互参照・リアクション**をする。「**友達の表現を真似してよい**」を公認し、**良い表現がクラスに広がり協働的な学び**になるよう設計する。早く終えた生徒は、語彙練習や音読練習へ**自由進度的に移行**する。

⑤ 次時に向けて個別最適化された練習を自走させる

次時の発表に備え、WorldClassroomで自作英文の音読練習を行う。**AIによる読み上げや発音正解率判定により、教師が介在せずに自己調整しながら改善を繰り返す**。教師は創出された時間で、支援が必要な生徒の伴走と学びの接続に専念する。



① 生成AIキャラクターとの英会話

- 友達のすてきなところを紹介しよう
- ①スタディポケット テンプレートからチャット
右上「5桁のコードを入力」で99075を入力
中1英語友達紹介英作文サポートを使用
 - ②対話をして英文を完成させる
 - ③英文をもとにCanva AIで画像生成をする ※横縦比=3:4
 - ④カードを完成させて、3枚目のみ、みんなのボードに提出する



③ 手順付きロードマップ



④ みんなのボード上の完成カード